

令和6年度(2024年度)用

小学校国語科書写用

「新編 新しい書写」
年間指導計画作成資料
【2年】

令和6年(2024年)1月版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新編 新しいしよしゃ 二」(第2学年)年間指導計画

| 月 | 単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連 | 単元の目標 | 時数 | 学習活動 【書写のかぎ】 | 観点別評価規準 |
|-------------|--|---|----|--|---|
| 4 | <p>●おかしなかんばん ●しよしゃの学び方 ・文字を書くしせい ・書きやすいもち方 表紙裏～p.7</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア) 【用具】鉛筆</p> | <p>○1年間の学習を見直し、書写の学習の進め方を理解することができる。</p> <p>○書きやすい姿勢や鉛筆の持ち方を理解して書くことができる。</p> | 3 | <p>①1年間の学習の流れを見通す。</p> <p>②書写の学習の進め方を理解する。</p> <p>③書くときの姿勢や鉛筆の持ち方を見直し、書きやすい姿勢・鉛筆の持ち方を改めて理解する。</p> <p>【姿勢・持ち方】</p> <p>④姿勢・鉛筆の持ち方について、自己評価・相互評価をする。</p> | <p>【知・技】</p> <p>○書きやすい姿勢と鉛筆の持ち方を理解して書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○自分の姿勢や鉛筆の持ち方を見直し、よい点や改善すべき点を考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○1年間の学習を見直し、書写の学習の進め方を知って、積極的に学習に取り組もうとしている。</p> |
| 5 | <p>○「止め」「はね」「はらい」と「おれ」「まがり」 p.8～9</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p> | <p>○片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を理解し、正しく書くことができる。</p> | 2 | <p>①片仮名の「止め」「はね」「払い」の書き方を確認する。</p> <p>【点画の書き方】始筆・送筆・終筆</p> <p>②「止め」「はね」「払い」の書き方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。</p> <p>③片仮名の「折れ」「曲がり」の書き方を確認する。</p> <p>【点画の書き方】「折れ」「曲がり」</p> <p>④「折れ」「曲がり」の書き方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。</p> <p>⑤自己評価・相互評価をする。</p> | <p>【知・技】</p> <p>○片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を理解している。</p> <p>○片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」を正しく書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。</p> |
| 5 ・ 6 | <p>○にている文字のちがうところ p.10～11</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆</p> | <p>○字形の似ている片仮名どうしや、片仮名と漢字を比べて、違いに気づいて正しい字形で書くことができる。</p> | 2 | <p>①片仮名どうし、片仮名と漢字を比べて、似ているところと違うところを確認する。</p> <p>【点画の書き方】始筆・送筆・終筆</p> <p>【字形】点画の方向</p> <p>②片仮名どうし、片仮名と漢字のそれぞれの違いに注意して書く。</p> <p>③似ている文字の、点画の方向の違いに注意して書く。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p> | <p>【知・技】</p> <p>○似ている文字の違いを正しく理解している。</p> <p>○似ている文字の違いに気をつけて、正しく書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○既習事項を生かして、似ている文字の相違点を見つけている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、似ている文字の違いに気をつけて、進んで書こうとしている。</p> |
| 6 | <p>○点画の名前 p.12～14</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p> | <p>○漢字の点画の名称と書き方を理解し、正しく書くことができる。</p> | 2 | <p>①漢字の点画の名称を確認する。</p> <p>【点画の書き方】「横画」「縦画」「点」「折れ」「左払い」「右払い」「反り」「曲がり」</p> <p>②点画の名称と書き方を確かめながら書く。</p> <p>③漢字を見て、どの点画が使われているか考える。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p> <p>⑤水書用紙と水書用筆などを使用して、点画の書き方を確認する。</p> | <p>【知・技】</p> <p>○漢字の点画の名称と書き方を理解している。</p> <p>○漢字の点画を正しく書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○漢字の点画の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、それぞれの点画の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。</p> |

| 月 | 単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連 | 単元の目標 | 時数 | 学習活動 【書写のかぎ】 | 観点別評価規準 |
|------|---|--|----|--|--|
| 6 | ▼生活に広げよう ・れんらくちょうを書こう p.15 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆 | ○平仮名・片仮名・漢字の書き方を理解し、連絡帳を書く場面で生かすことができる。 | 1 | ①既習の点画の書き方を確認する。 ②既習事項を生かして、連絡帳を丁寧に書く。 ③自己評価・相互評価をする。 | 【知・技】 ○既習の平仮名・片仮名・漢字の書き方を理解して書いている。 【思・判・表】 ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○既習事項を生かして、進んで連絡帳を書こうとしている。 |
| 7 | ○ひつじゅんのきまり p.16～17 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○筆順の原則を理解し、原則に従って正しく書くことができる。 | 2 | ①筆順の原則を確認する。 【書くときの動き】筆順 筆順の大原則（「上から下」、「左から右」）、「外から中」、形が同じ部分は同じ筆順で書く。 ②筆順の原則に注意して、筆順に従って書く。 ③自己評価・相互評価をする。 | 【知・技】 ○筆順の原則を理解している。 ○筆順の原則に従って、正しく書いている。 【思・判・表】 ○筆順の原則に注意して、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、筆順の原則に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 9 | ○画の長さ p.18～19 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○画の長さの整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①「横画」の長さの整え方を確認する。 【字形】点画の長さ ②「横画」の長さの整え方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。 ③自己評価・相互評価をする。 | 【知・技】 ○画の長さの整え方を理解している。 ○画の長さに注意して、正しく書いている。 【思・判・表】 ○画の長さに注意して、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、画の長さに気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 9・10 | ○画のほうこうと、画と画の間 p.20～21 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○画の方向の整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。 ○画の間隔の整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①「横画」の方向の整え方を確認する。 【字形】点画の方向 ②「横画」の間隔の整え方を確認する。 【字形】点画の間隔 ③画の方向と間隔の整え方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。 ④自己評価・相互評価をする。 | 【知・技】 ○画の方向と間隔の整え方を理解している。 ○画の方向と間隔を正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○画の方向と間隔の整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、画の方向と間隔に気をつけて、進んで書こうとしている。 |

| 月 | 単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連 | 単元の目標 | 時数 | 学習活動 【書写のかぎ】 | 観点別評価規準 |
|----|---|----------------------------------|----|---|---|
| 10 | ○「はらい」のほうこう p.22～23 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆(フェルトペン) | ○「払い」の方向を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 2 | ①「払い」の方向の整え方を確認する。 【字形】点画の方向 ②「払い」の方向の整え方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。 ③自己評価・相互評価をする。 | 【知・技】 ○「払い」の方向を理解している。 ○「払い」の方向に注意して、正しく書いている。 【思・判・表】 ○「払い」の方向に注意して、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「払い」の方向に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 11 | ○「おれ」のほうこう p.24 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆(フェルトペン) | ○「折れ」の方向を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 1 | ①「折れ」の方向の整え方を確認する。 【字形】点画の方向 ②「折れ」の方向の整え方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。 | 【知・技】 ○「折れ」の方向を理解している。 ○「折れ」の方向に注意して、正しく書いている。 【思・判・表】 ○「折れ」の方向に注意して、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「折れ」の方向に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 11 | ▼生活に広げよう ・かんさつカードを書こう p.25 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆ほか ★他教科との関連：生活 | ○既習事項を理解して、観察カードを書く場面で生かすことができる。 | 1 | ①既習事項を確認する。 ②既習事項を生かして、観察したことを、カードに丁寧に書く。 ③自己評価・相互評価をする。 | 【知・技】 ○既習事項を理解して書いている。 【思・判・表】 ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○既習事項を生かして、進んで観察カードを書こうとしている。 |
| 11 | ○画のつき方と交わり方 p.26～27 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆(フェルトペン) | ○画の接し方と交わり方を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 2 | ①画が接するところ、離れているところ、交わるところを見つけ、画の接し方と交わり方を確認する。 【字形】点画の接し方、点画の交わり方 ②画の接し方と交わり方の違いを意識して、ほかの文字を筆順に従って書く。 ③自己評価・相互評価をする。 | 【知・技】 ○画の接し方と交わり方を理解している。 ○画の接し方と交わり方に注意して、正しく書いている。 【思・判・表】 ○画の接し方と交わり方に注意して、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、画の接し方と交わり方に気をつけて、進んで書こうとしている。 |

| 月 | 単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連 | 単元の目標 | 時数 | 学習活動 【書写のかぎ】 | 観点別評価規準 |
|-------------|---|-------------------------------------|----|--|--|
| 12 | ◇文字といっしょに ・書きぞめをしよう p.28～29 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆・フェルトペン | ○既習事項を理解して、書き初めを丁寧に書くことができる。 | 2 | ①既習事項を確認する。 ②既習事項を生かして、丁寧に書き初めをする。 ③自己評価・相互評価をする。 | 【知・技】 ○既習事項を理解して、丁寧に書いている。 【思・判・表】 ○既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○既習事項を生かして、進んで書き初めを書こうとしている。 |
| | ◇文字といっしょに ・かん字の話 p.30 ★他教科との関連：国語 | ○漢字の成り立ちを知って、漢字を書くことへの興味を高めることができる。 | — | ①それぞれの漢字の成り立ちを知り、書写学習に興味をもつ。 | 【主】 ○漢字の成り立ちを知ることを楽しみ、意欲的に学ぼうとしている。 |
| | ◇文字といっしょに ・知っているかなくいろは歌 p.31 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆 ★他教科との関連：国語 | ○既習事項を生かして、丁寧に書くことができる。 | — | ①既習事項を生かして、我が国の言語文化に関する文章を丁寧に書く。 | 【知・技】 ○既習事項を理解して、丁寧に書いている。 【思・判・表】 ○既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○既習事項を生かして、進んで書こうとしている。 |
| 1 | ○文字の外形 P32～33 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○文字の外形を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 2 | ①文字の外形の整え方を確認する。 【字形】外形 ②外形の整え方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。 ③自己評価・相互評価をする。 | 【知・技】 ○文字の外形を理解している。 ○文字の外形を正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○文字の外形に注意して、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、文字の外形に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 1 ・ 2 | ○文字の中心 p.34～35 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○文字の中心を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①文字の中心の整え方を見つける。 【字形】文字の中心 ②文字の中心の整え方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。 ③自己評価・相互評価をする。 | 【知・技】 ○文字の中心を理解している。 ○文字の中心を正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○文字の中心に注意して、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、文字の中心に気をつけて、進んで書こうとしている。 |

| 月 | 単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連 | 単元の目標 | 時数 | 学習活動 【書写のかぎ】 | 観点別評価規準 |
|---|--|--|----|--|--|
| 2 | ▼学びを生かそう ・二年生のまとめ p.36～37 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆 ★他教科との関連：国語 | ○自分のめあてを持ち、既習事項を生かして、正しく整えて書くことができる。 | 2 | ①迷路をたどって、1年間の既習事項を振り返る。 ②既習事項の中から、自分のめあてを立てる。 ③自分の立てためあてに注意して書く。 ④自己評価・相互評価をする。 | 【知・技】 ○既習事項を理解している。 ○既習事項に注意して、正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○自分のめあてを持って学習に取り組み、その評価を今後を生かそうとしている。 |
| 3 | ▼学びを生かそう ・「ありがとう」をつたえよう p.38～39 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) 【用具】鉛筆・フェルトペンほか ★他教科との関連：国語、生活 | ○既習事項を理解して、文章を書く場面で生かすことができる。 | 2 | ①1年間の既習事項を確認する。 ②既習事項を生かしながら、感謝の気持ちを伝える手紙やカードなどを丁寧に書く。 ③自己評価・相互評価をする。 | 【知・技】 ○既習事項を理解している。 ○既習事項に注意して、正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○今までの学習を生かして、進んで、感謝を伝える文章を書こうとしている。 |
| | ◇文字といっしょに ・どうやって作るの えんぴつの作り方 p.45 | ○身近な筆記具である鉛筆の作り方をすることで、書写学習への興味を高めることができる。 | — | ①鉛筆がどうやって作られているかを知り、書写学習に興味を持つ。 | 【主】 ○身近な書写用具について知ることを楽しみ、意欲的に学ぼうとしている。 |